

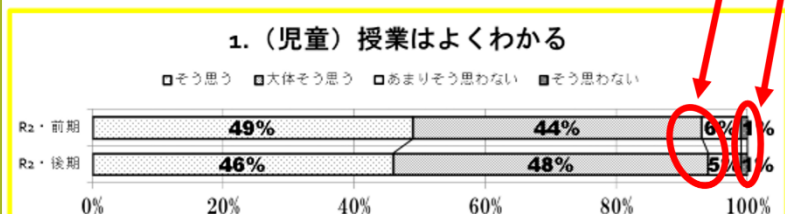


令和3年3月吉日  
京都市立美豆小学校  
校長 前田 恵美



お忙しい中、先日は学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。このアンケートは、子どもたちや保護者、地域の方々の一人一人の声を大切に、学校・保護者・地域が一体となった取り組みを進めていくために活用させていただきます。子どもたちの学校生活をよりよいものにするをめざし、実施しています。アンケート結果や各種学校評価指標に基づく自己評価、前期学校評価をご報告します。

## 1 学力



● 授業がわからないという児童への支援や指導の在り方について、校内授業研究の取り組みを継続した。全教職員で深め、今後もより丁寧な学習指導を続けていきたい。

今年度については、算数科の複数指導やまとめ単元での習熟度指導などを実施した。

2. (児童) 今、学校は楽しい

□ そう思う □ 大体そう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない

時期	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R2・前期	66%	27%	4%	3%
R2・後期	63%	28%	7%	2%

● 少数ではあるが、学校が楽しいと思えない児童が増えている。学校行事の縮小や中止の影響もあると考えられるが、その原因を究明し、児童への寄り添いをより深いものにしていきたい。

3. (児童) 先生はていねいに教えてくれる

☐ そう思う ☐ 大体そう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない

時期	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R2・前期	73%	24%	3%	
R2・後期	78%	20%	2%	

●学校評価アンケートの自由記述欄にも複数同意意見をいただいていたが、今年度は参観授業をはじめ、保護者の皆様に学校へ来ていただく機会がほぼなく、授業内容等の実態に目にする事がなかったため、評価しにくかったこともある。来校していただかなくとも、授業内容等、学校の様子を発信していく工夫が必要であった。

4. (児童) 困ったことがあれば先生に相談している

☐ そう思う ☐ 大体そう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R2・前期	35%	33%	20%	11%
R2・後期	38%	33%	21%	8%

●児童の否定的意見が下がっていることはよいが、依然として、相談出来にくい児童がいることを常に心にとめ、細やかな見取りと声かけを行い、児童の状況把握に努めていきたい。

5. (児童) 友だちや周りの人の気持ちを考えて、やさしくすることができている

☐ そう思う ☐ 大体そう思う ☐ あまりそう思わない ☐ そう思わない

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R2・前期	45%	44%	9%	2%
R2・後期	47%	44%	4%	4%

●人を大切にすること、人から大切にされることは繋がっていることと指導してきていることから否定的な意見をもっていう児童には、より肯定感を高められるような寄り添いを意識し、自尊感情を育てることに繋げていきたい。

6. (児童) 自分から進んで本を読んでいる

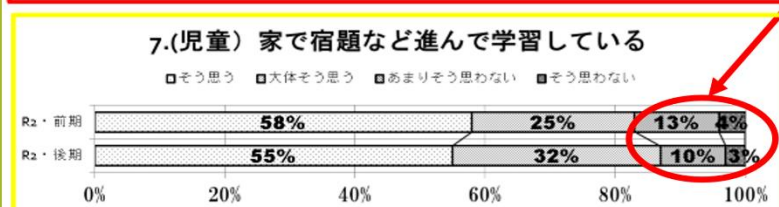
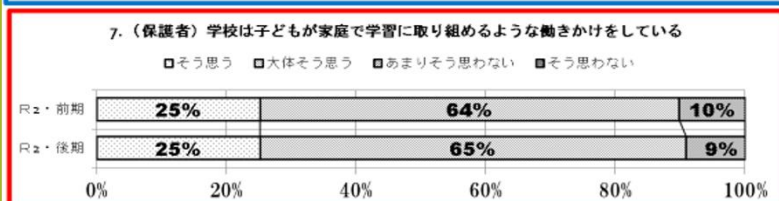
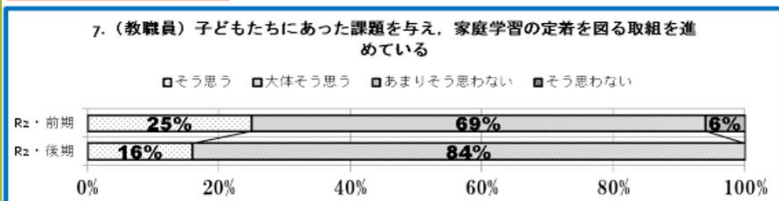
☐ そう思う ☐ 大体そう思う ☒ あまりそう思わない ☐ そう思わない

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
R2・前期	42%	30%	20%	8%
R2・後期	49%	28%	16%	7%

●読書は生涯を通じての財産に繋がることから、小学生の間に、読書の習慣化を目指した図書館教育を推し進める指導と共に、環境整備を進めて行きたい。



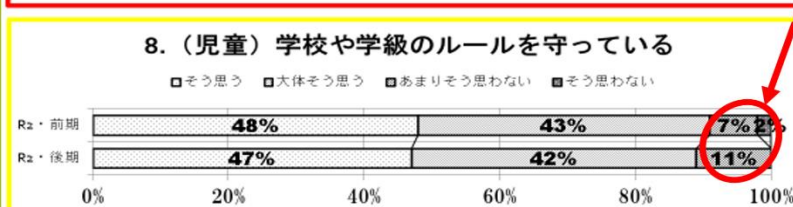
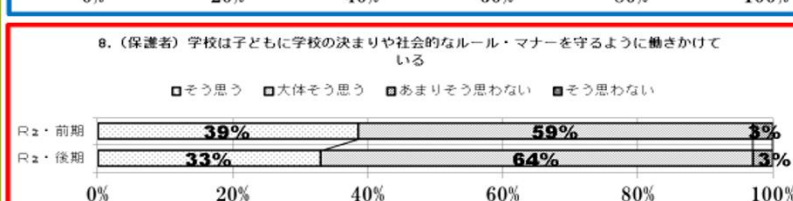
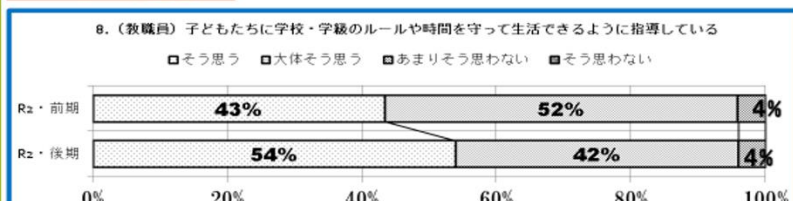
## 7 宿題



○昨年度より引き続き、【授業と家庭学習の連動】を意識した取組を続けつつ、個に応じた課題や支援の必要性も強く感じている。今後は個に応じた支援にも着目した取組を進めたい。

●家庭学習に向かうためには、基礎学力をつけていくべき児童などへの、個別の課題や手立てについて、検討・推進していく必要がある。

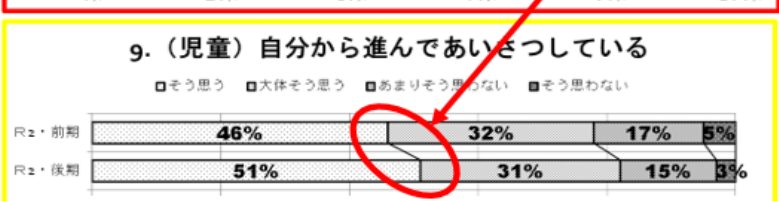
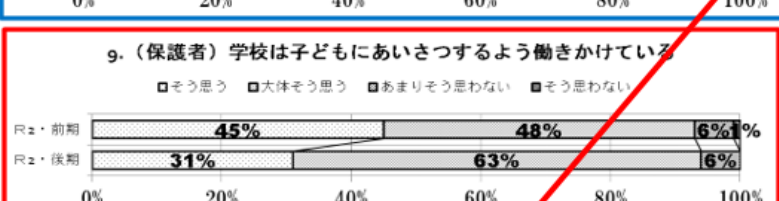
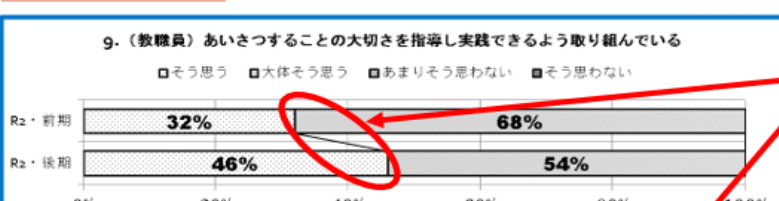
## 8 規則



○教職員・保護者・児童の3者ともに肯定的意見に大きな変化はないが、結果に安堵することなく、自らルールを守る指導を継続していきたい。

●低学年を中心に、日常生活の中にある、友達との約束や遊びのルールなど、小さなルールは守り切れずにトラブルになることがあるが、一つずつ解決していく支援を続けていく。

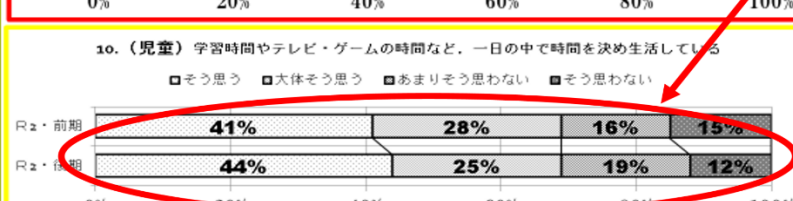
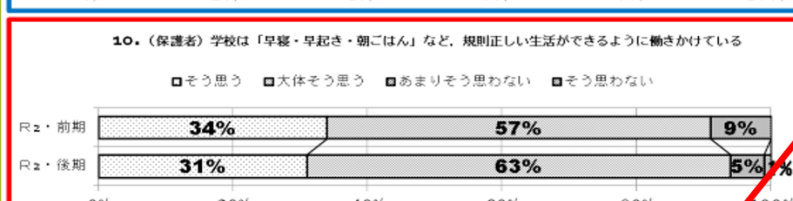
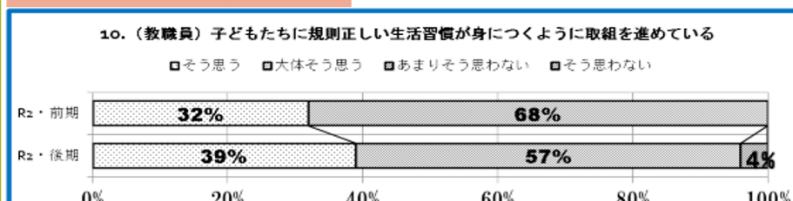
## 9 挨拶



○教職員・児童ともに、肯定的意見が上昇した。人権学習とも絡めて、あいさつの大切さを指導してきた。今後も継続していきたい。

●家庭との連携を強めることで、あいさつは、いつでもどこでも誰にでもできる力をつけていきたい。

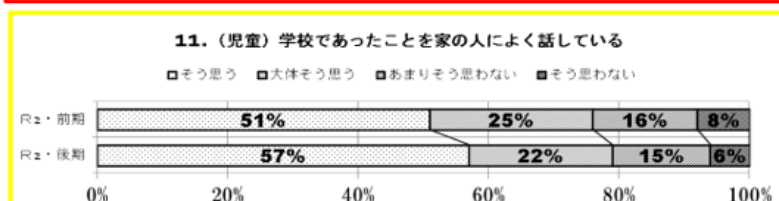
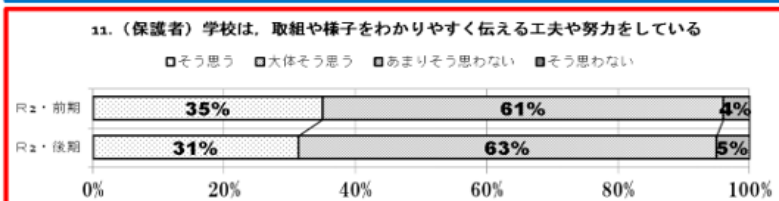
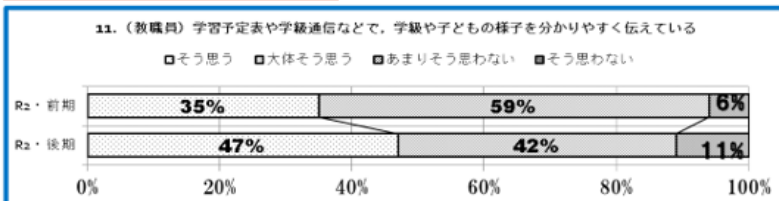
## 10 生活習慣



○教職員や保護者など、大人からの取組は、意識的にできているように感じる。家庭との連携が大きく影響する項目であるため、今後も細やかに連携を取りつつ進めていきたい。

●この項目については、児童の数値の変容があまり見られない。経年変化を追っても同じような状況である。子どもの力だけでは改善出来ないことと認識し、保護者との連携や、大人からの働きかけを大切にしていきたい。

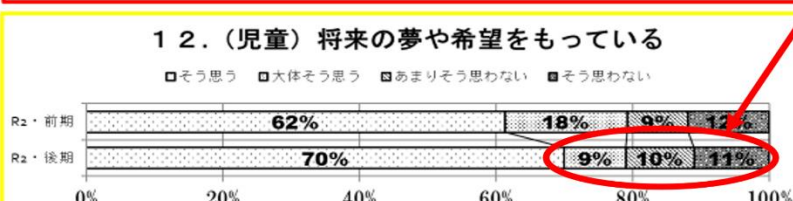
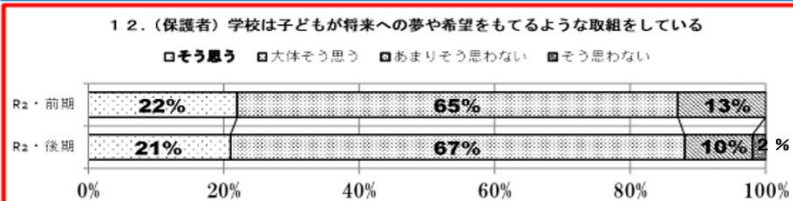
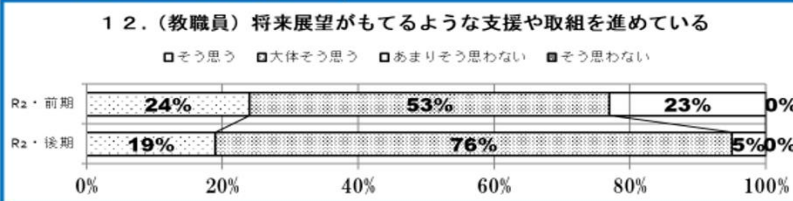
## 11 家庭連携



○学校だより・学級だよりを中心に、学校やクラスでの取組を発信し、家庭での会話の糸口にしてもらうことができていたように受け止めている。

●今年度、特に後期においては、HPでの情報発信が、充実できていなかった。保護者に学校へ来ていただく機会が少なかった今年度こそ、HPによる情報発信が重要であった。

## 12 将来展望



○教職員や保護者の肯定的意見の向上が見られた。今年度より取組が始まっている、【生き方探究パスポート】への取組も合わせて、児童への支援を続けていきたい。

●今年度は、児童の将来展望に繋がるような取組(特に体験的な学習)が、思うように進められなかったことにも起因していると感じている。自分自身を見つ返す時間の取組を充実させたいと思われる。

## ★学校関係者評価★

- ・今年度は2か月間の休校など新型コロナウイルス感染拡大防止対策の中で、学校生活や行事の変化に対応して、教職員(学校)の変革努力が理解できた。また、先生の指導が、児童の前向きな姿勢の中に見えるように思う。
- ・思いやり、人権、規則、挨拶はまず家庭での教育が大きく影響するものだと思う。家庭と学校との連携・連絡が大切だと思う。
- ・学校独自の取組として行ってきた、従来からの地域と学校との関係の継続を今後も望む。
- ・学校からの発信は、各家庭や地域も見るように心掛けていただきたい。地域として、学校からの依頼があれば、できることは今後も協力していきたい。
- ・少数ではあるが、学習や学校生活への不安を抱えている一部の児童に対する支援・見守り等を、今後も丁寧に行ってほしい。



今後も、学校・地域・保護者の連携・共働のもと、粘り強く取組を進めていきます。